

令和4年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		飯能市さわらびの湯	
施設所在地		飯能市大字下名栗685番地	
指定期間		令和 3 年度 ~ 令和 5 年度 まで (3 年間)	
施設の設置目的		都市と山村の交流と共に市民福祉の増進を図る	
指定管理者	団体名	名栗さわらびの湯共同事業体	
	代表者	代表団体Fun Space株式会社 代表取締役 鈴木 茂	
	所在地	飯能市大字中藤下郷623番地3	
担当部課	部	産業環境部	課 観光・エコツーリズム推進課
	TEL	973-2111	内線 633
	E-mail	kanko@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	管理責任者の配置など責任体制が明確化されています。また、個人の担当する業務のみに限らず、様々な業務に対応できるよう従業員の教育をされています。 日常から担当課と連絡を密にし、臨機に対応が取れる体制であり、災害や緊急事態対策については、警察、消防、保健所等への通報体制確立され、利用者の安全・安心が確保されています。施設の老朽化進む中、施設維持は、保守点検の実施により、機械等のトラブルは、最小限に留められています。施設の修繕や維持管理作業においては、調書を作成し、随時確認しています。
(2) 利用者サービスに関する業務	S	事業計画に示されている「「顧客感動」につながる「清掃」を実施します。」を実践しています。また、顧客満足度調査を実施し、運営の改善、改良と従業員の教育に反映させていることは高く評価できます。令和4年度は年間利用者がコロナ禍前と同等の70,929人まで回復し、顧客満足度調査において、市民利用の割合が、前年度の16.5%から25.6%へ9.1ポイント上昇していることは、良好な利用者サービスの結果であると言えます。
(3) 収支状況	A	物価や電気料金等の光熱費、燃料費が高騰している中、業務の効率化のため、支配人、副支配人を中心に従業員一人ひとりに経費削減の意識が徹底され、支出抑制等に取り組んでいました。また、利用者もコロナ禍前と同等にまで回復させたことは高く評価できます。しかしながら、物販の状況は依然回復していない状況にあります。自主事業については、開催数は多いが、収益の改善へ結びついているか不透明な状況です。収益へつながる自主事業の検討を積極的に行う必要があると考えます。
総合評価	A	総合的には、良好に施設管理を行っていると評価できます。施設がかなり老朽化している中で、利用者アンケート調査の結果には「清潔である」「清掃が行き届いて綺麗である」という声が多く見られます。おもてなしの心を持って管理していることの結果です。収益状況に関しては、コロナ禍の影響により、電気料金や燃料費の高騰、あるいは物品販売が計画通りにならなかったことで赤字となってしまったことが残念でした。

3 今後における業務改善の方向性

物価や燃料費の高騰の高騰により、今後の管理コストについては不透明であり、更に上昇することや高止まりすることも考えられます。その対策として、利用者の消費単価を上げていく試みが必要と考えます。更なる市民一人ひとりの健康増進、また、民間事業者ならではの様々な視点から利用者満足度を上げること等によるリピーターを増やす対策、あるいは、名栗地域そのものを観光資源と捉え、登山で訪れる方に対しての新たなサービスの提供や周辺事業者との更なる連携等による収益改善の検討が必要と考えます。

令和4年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		農林産物加工直売所	
施設所在地		飯能市大字下名栗607-1	
指定期間		令和 2 年度 ~ 令和 6 年度 まで （ 5 年間 ）	
施設の設置目的		農林産物の加工及び販売の場を提供するとともに、観光的視点を取り入れた、地域の自然とふれあい、人々が交流し、及び北欧の雰囲気を感じることができる空間を提供することにより、農林業の振興と地域の活性化を図る	
指定管理者	団体名	株式会社Wonder Wanderers	
	代表者	代表取締役 須藤 玲央奈	
	所在地	東京都中野区中野4-1-1 中野サンプラザ9階	
担当部課	部	農林部	課 農業振興課
	TEL	973-2111	内線 601
	E-mail	noshin@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	部門長体制のもと、アルバイトスタッフを適材適所に設け機動的な運営が図られている。また、屋外での消耗が激しい備品や設備を必要に応じて都度修繕し、営業に支障が出ないように留意しながらの運営を行っている。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	新規顧客やリピーター獲得に向け、積極的なメディア展開を継続して行っている。また、Café&Shop YAMASEMIの飲食メニューを充実させ、カフェ機能の刷新を図るなど利便性向上に鋭意取り組んでいる。
(3) 収支状況	A	物価高騰の影響を受けながらも、不要な支出を見極め、全国旅行支援やふるさと納税返礼品等をうまく活用し、収益増に繋がる健全な運営を行っている。
総合評価	A	R3.4月のグランドオープンから2年が経ち、グランピング事業を一過性で終わらせないために、指定管理者として試行錯誤しながらも無事に3年目を終えることができた。また、継続的な雇用創出や市内事業者との積極的な取引拡大など、市内への経済波及効果に寄与している。

3 今後における業務改善の方向性

- 引き続き安心安全な管理運営に努めること。
- アウトドアブームの競争が激化する中、常に注目を集める施設となるよう新しいことにチャレンジしていくこと。
- 地域住民に愛される施設となるよう、地域を巻き込んだ事業展開を積極的に図ること。

令和4年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		ふれあい農園施設	
施設所在地		飯能市大字井上54番地2	
指定期間		令和 3 年度 ~ 令和 7 年度 まで （ 5 年間 ）	
施設の設置目的		本市の農業の振興を図るとともに、市民に憩いとふれあいの場を提供することにより市民の福祉の増進に寄与することを目的とする。	
指定管理者	団体名	株式会社平栗園	
	代表者	廣田 祐子	
	所在地	飯能市大字井上54番地2	
担当部課	部	農林部	課 農業振興課
	TEL	042-973-2111	内線 601
	E-mail	noshin@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	成功事例や失敗事例をスタッフ間で共有化することで、常に改善を図ろうとする認識が身についている。また、日常的に施設点検を行うことで、修繕の必要性の早期発見・対応に結び付いている。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	田舎栗まんじゅうの開発・販売や土産物の充実を図ることで、利用者に飽きさせない工夫がうかがえる。また、観光協会と連携したエコツアーの開催を積極的に行うなど、単なるレストハウスにとどまらず、リピーター獲得に向け鋭意取り組んでいることは評価できる。
(3) 収支状況	A	組織体制の見直しによる人件費が膨らんだ一方、仕入れ先の変更や団体客へのサービス内容の充実により単価増につながる取組がうかがえる。今後も物価高騰の中ではあるが、稼ぐ力を養い収益増に繋げていただきたい。
総合評価	A	前例踏襲ではなく利用者目線に立った運営体制が整いつつある。施設の老朽化などの課題も多いが、地域との関係も良好なため、指定管理者として地域の牽引役となる取組に期待したい。

3 今後における業務改善の方向性

- 引き続き安心安全な管理運営に努めること。
- 施設の老朽化対策は継続して実施し、新規顧客獲得のための事業についても検討すること。
- 地域を巻き込んだ取組を実践すること。

令和4年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		飯能市林業センター	
施設所在地		飯能市大字阿須343番地の1	
指定期間		令和 3 年度 ~ 令和 7 年度 まで (5 年間)	
施設の設置目的		本市の林業の振興を図るための拠点施設	
指定管理者	団体名	西川広域森林組合	
	代表者	代表理事組合長 小峰 幸平	
	所在地	飯能市大字阿須343番地の1	
担当部課	部	農林部	課 森林づくり推進課
	TEL	042-978-5061(直通)	内線 609
	E-mail	norin2@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1)基礎的な業務	A	施設内は清掃が行き届き、整理整頓され、管理運営は概ね適切に実施されていることが確認できた。また、必要箇所は修繕を行いながら施設運営がされており、施設内で特に目立つ損傷等はない。
(2)利用者サービスに関する業務	A	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を引続き実施しながら、利用者に対し安心できる環境を提供した。また、木育事業2年目となる本年度は、回数を増やし新しい内容を追加するなど、昨年度の要望を踏まえ更なるサービス充実に向けた取組を実施した。
(3)収支状況	A	職員自らが施設の修繕や植木の手入れを行うことで施設の管理費用削減に努めている。また、節電節水を徹底し、必要最小限の使用で光熱水費を抑えている。施設が老朽化する中、優先順位を決めて予算の範囲内で適切に管理を行っている。
総合評価	A	コロナ渦でも利用者数が増加した中で施設管理が適切に行われ、利用者への対応も丁寧であった。また、施設の老朽化に伴い外壁や空調設備等の大規模な修繕を行う中で、周知や調整等を行いながら作業を終えることができた。

3 今後における業務改善の方向性

令和3年度から木育事業を新設し、親子参加型の西川材を使ったイベントなどを今年度も開催した。林業センター内に設けたイベントスペースは、西川材の床や椅子を使い、木に触れる機会を増やす工夫がされていたほか、乳幼児用に授乳室やトイレ用具を設置し、安心して参加できるよう配慮されていた。参加者はリピーターも多く好評であったことから、次年度以降も適宜改善を行い、施設を有効に活用しながら、工夫を凝らした運営を行っていただきたい。

令和4年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		総合福祉センター(管理)	
施設所在地		飯能市大字双柳371番地の13	
指定期間		令和 元 年度 ~ 令和 5 年度 まで (5 年間)	
施設の設置目的		老人福祉センター、身体障害者福祉センター、児童センターの各施設において、老人、障害者、児童に対して各種のサービスを提供し、健康で明るい生活の向上に寄与するため。	
指定管理者	団体名	社会福祉法人 飯能市社会福祉協議会	
	代表者	会長 新井 重治	
	所在地	飯能市大字双柳371番地の13	
担当部課	部	福祉子ども部	課 地域・生活福祉課
	TEL	042-973-2111	内線 161
	E-mail	chifuku@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1)基礎的な業務	A	指定管理業務仕様書に沿った適切な管理運営が行われている。新型コロナウイルスの感染拡大防止を意識した施設運営を心がけ、その時々々の感染状況に応じて適切な制限を行うなど安全面と利便性のバランスを考慮した運営に努めた。
(2)利用者サービスに関する業務	A	新型コロナウイルスの感染拡大防止を意識しつつ、折々の感染状況に応じこまめに運営方針を見直しながら、市民の交流の場としての機能を果たすべく、可能な限り諸事業の実施を行った。また、利用者に対し相談機能を意識しながらの対応に努め、社会福祉協議会ならではのサービス提供に繋がっている。
(3)収支状況	A	電気代等の高騰の影響が大きく、市の負担金の交付を行ったが、時間帯による照明の使用抑制や電力供給会社の見直し等を行い、指定管理料の額内で支出を収めることができた。また、様々な軽微な修繕については職員で対応し、施設の維持管理費の削減が図られている。
総合評価	A	新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みつつ、利用者の安心につながる適切な施設運営が行われた。 引き続き利用者と良好な関係を築き、地域福祉の拠点としての機能を十分に発揮することを期待する。

3 今後における業務改善の方向性

施設の竣工後35年以上が経過し、経年劣化による建物・設備の不備・不調が懸念されることから、これまで以上に日常点検に配慮し、安全に安心して利用できる施設であり続けられるよう努めること。
社会情勢の変化により物価が高騰するなど経費の増大が見込まれることから、引き続き経費の節減に向けた創意工夫に努めること。

令和4年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		総合福祉センター(身体障害者福祉センター)	
施設所在地		飯能市大字双柳371番地の13	
指定期間		令和 元 年度 ~ 令和 5 年度 まで (5 年間)	
施設の設置目的		身体障害者の自立と社会経済活動への参加を促進するため。	
指定管理者	団体名	社会福祉法人 飯能市社会福祉協議会	
	代表者	会長 新井 重治	
	所在地	飯能市大字双柳371番地の13	
担当部課	部	福祉子ども部	課 障害福祉課
	TEL	042-973-2111	内線 170
	E-mail	syoufuku@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	職員行動基準を作成し、事務所内の新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、人員配置、危機管理体制、個人情報保護、防災避難訓練、施設管理など適切に行われている。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	新型コロナウイルス感染症の流行により、以前に比べ利用者は減少傾向にあるが、感染症拡大防止対策を行い、利用者の安全を確保しつつ、安心して参加できる事業を実施している。
(3) 収支状況	A	電気代、燃料費の高騰や物品の値上げにより経費削減が難しい中、業者選定などにより削減の努力を行っている。また、不用額については、協定に基づき精算がなされ、適正な収支が図られている。
総合評価	A	令和4年度には虐待防止委員会が設けられた。委員会を2回開催するとともに、職員は毎月チェックシートにより自らに虐待行為がなかったか改めて振り返ることにより、意識付けされている。 施設管理では、新型コロナウイルスの感染予防対策を施設側及び利用者側が徹底した結果、クラスターの発生はなく、大幅な休館もすることなく1年度間終えることができています。 事業でも、新型コロナウイルスの感染拡大防止策をし、利用者の安全、安心を第一に身体障害者福祉センターの事業を行っている。 障害者に配慮したきめ細やかな対応では、看護師による相談支援や車いすの貸し出し、遠隔手話タブレットの設置が継続して実施されている。

3 今後における業務改善の方向性

令和4年度は地域活動支援センター内に虐待防止委員会を設置したことにより、利用者の人権尊重、安全が図られた。毎月のチェックシートによる虐待への意識付けが重要であることから、委員会でチェックシートの評価も実施していただきたい。また、地域活動支援センターの利用者の高齢化が進み、登録があるものの事業に参加できない利用者も出てきている。今後は、利用者の現状に適した事業内容、地域活動支援センターの役割や対象者等について検討していただきたい。

また、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したが、今後も利用者の安心、安全に配慮しつつ、障害者の社会参加を支援する場として広く利用できるように、事業の実施、施設の管理を行っていただきたい。

令和4年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		飯能市総合福祉センター（老人福祉センター）	
施設所在地		飯能市大字双柳371番地13	
指定期間		令和 元 年度 ～ 令和 5 年度 まで （ 5 年間 ）	
施設の設置目的		高齢者に対して各種のサービスを提供し、健康で明るい生活の向上に寄与するため。	
指定管理者	団体名	社会福祉法人 飯能市社会福祉協議会	
	代表者	新井 重治	
	所在地	飯能市大字双柳371番地13	
担当部課	部	福祉子ども部	課 介護福祉課
	TEL	042-973-2111	内線 109
	E-mail	kaigo@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	感染状況に応じて適切な制限緩和を行うなど、安全面と利便性のバランスを考慮した運営に努めた。 3月13日からマスクの着用については個人の判断に委ねることとし、団体利用後の名簿提出及び団体利用後の消毒についても、3月13日からは不要とした。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	新規事業として、「俳句講座」、「終活講座」を開催した。俳句講座については講座修了後にクラブが立ち上がり、自主活動に至った。 浴室は引き続き中止とし、集会室のカラオケは10月3日から再開した。
(3) 収支状況	A	事業の再開、燃料費高騰などにより水道光熱費の支出が前年度に比べて増加している状況である。 施設運営や利用者に対して影響のない範囲で削減に努めていただきたい。
総合評価	A	感染対策を徹底した上で事業の再開をしており、高齢者福祉の増進に努めていただいている。新規事業の「終活講座」などを行い、高齢者の不安の解消につなげることができているため、利用者の視点を考え、業務を続けていただきたい。

3 今後における業務改善の方向性

事業の実施を概ね計画通りに実施していただき、利用制限も解除になるなど、コロナ禍以前の状況に近づいてきている。引き続き高齢者の健康を考え、事業の見直しや施設の点検、修繕などを進めていただきたい。

利用者からの意見を参考に業務の改善につなげていただき、利用者との信頼関係を強化し、飯能市の高齢者福祉の増進に努めていただきたい。

令和4年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		総合福祉センター(児童センター)	
施設所在地		飯能市大字双柳371番地の13	
指定期間		令和 元 年度 ~ 令和 5 年度 まで (5 年間)	
施設の設置目的		児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的としている。	
指定管理者	団体名	社会福祉法人 飯能市社会福祉協議会	
	代表者	会長 新井 重治	
	所在地	飯能市大字双柳371番地の13	
担当部課	部	福祉子ども部	課 子育て支援課
	TEL	042-973-2111	内線 119
	E-mail	jido@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1)基礎的な業務	A	業務仕様書に定められた資格を有する者の人員配置がされ、責任者を中心として管理執行体制が整っている。 施設内の安全管理について、館内の点検、巡回をマニュアル化し徹底して行っており、ケガ等の発生時も適切に対応している。
(2)利用者サービスに関する業務	A	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら徐々に制限を緩和し、状況に応じた事業の実施など利用者の安心安全を第一に考えた運営を行っている。 利用者への丁寧な声掛けにより、児童や保護者が安心して楽しく過ごせる居場所となっている。
(3)収支状況	A	節電や職員による修繕の実施などの工夫で効率的に管理運営がされている。引き続き経費の縮減に向け取り組んでいくこと。
総合評価	A	・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら自主事業を実施し、利用者への丁寧な声掛けなどの細やかな配慮により、児童や保護者が安心して過ごせる居場所となっている。 ・利用者の安心安全を第一に考え誠実に対応していることが良好な運営につながっている。

3 今後における業務改善の方向性

・アンケートの実施等により利用者ニーズの把握に努め、引き続き安心安全な児童の居場所づくりに取り組むこと。
・コロナ禍に対応した事業を充実させ、安心安全に利用できる居場所として児童センターの機能周知に取り組むこと。

令和4年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		飯能市高齢者福祉施設敬愛園	
施設所在地		飯能市大字芦荻場698番地3	
指定期間		令和 3 年度 ~ 令和 7 年度 まで （ 5 年間 ）	
施設の設置目的		高齢者福祉の増進を図るため	
指定管理者	団体名	社会福祉法人名栗園	
	代表者	池田 徳幸	
	所在地	飯能市大字芦荻場805番地	
担当部課	部	福祉子ども部	課 介護福祉課
	TEL	042-973-2111	内線 109
	E-mail	kaigo@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	緊急保護を含め入所及び退所の業務を迅速かつ適切に対応し、夜間等時間外についても柔軟に対応していただいた。また、指定管理者が行うべき修繕についても迅速に対応し、新型コロナウイルス感染対策についても、引き続き徹底していただいた。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	コロナ禍において、イベント・外出・面会の制限を行い、3階の居室に感染症対策の部屋を2部屋用意していただいた。入所者に対してはストレスの多い生活となっているが、職員が利用者一人ひとりと向き合い、声かけ、見守り、相談等を行い安心安全な環境を整えていただいた。
(3) 収支状況	A	電気・ガス・食料品の物価高騰により、市より支援金としての収入があったが、物価高騰の影響は続いており、厳しい財政状況ではあるが、行事や外出レク等感染症対策により事業縮小もあり経費の縮減に努めていただいた。
総合評価	A	コロナ禍の影響が続く中ではありますが、感染対策を徹底し、施設内での集団感染は発生しませんでした。また、緊急措置など様々な事情で入所されている高齢者の立場を考え、職員が適切にコミュニケーションをとることにより、良質な施設運営に努めていただいた。

3 今後における業務改善の方向性

施設の設置目的は高齢者福祉の増進を図るためであり、養護老人ホームの特性上、幅広い知識・経験を積んだ職員の対応が求められます。今後も定年再雇用制度等を利用して人員配置基準を満たす勤務体制を維持してください。また、新型コロナウイルス感染症については、感染症法上の分類が変更となりましたが、入所者は重症化リスクの高い高齢者であることから、引き続き、基本的な感染対策に努めてください。

施設の経年劣化に対応するため、日常的なメンテナンスや軽微な修繕をもとに施設の長寿命化に引き続き取り組んでください。

令和4年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		美杉台児童館	
施設所在地		飯能市美杉台1丁目2番地1	
指定期間		令和 元 年度 ～ 令和 5 年度 まで （ 5 年間 ）	
施設の設置目的		児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的としている。	
指定管理者	団体名	社会福祉法人 飯能市社会福祉協議会	
	代表者	会長 新井 重治	
	所在地	飯能市大字双柳371番地13	
担当部課	部	福祉子ども部	課 子育て支援課
	TEL	042-973-2111	内線 119
	E-mail	jido@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	業務仕様書に定められた資格を有する者の人員配置がされ、責任者を中心として管理執行体制が整っている。 安全管理について、児童クラブ室や地区行政センター及び保育所と連携し、緊急時を想定した訓練が実施されている。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら徐々に制限を緩和し、状況に応じた事業の実施など利用者の安心安全を第一に考えた運営を行っている。 利用者への丁寧な声掛けにより、児童や保護者が安心して楽しく過ごせる居場所となっている。
(3) 収支状況	A	経年劣化する施設及び設備の維持管理について、必要性や緊急性を判断して、職員による修繕の実施等も行いながら効率的に進められている。
総合評価	A	・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら自主事業を実施し、利用者への丁寧な声掛けなどの細やかな配慮により、児童や保護者が安心して過ごせる居場所となっている。 ・児童クラブ室との連絡を常に行い、相互理解のもとに児童の安全に配慮した管理運営がされている。

3 今後における業務改善の方向性

・アンケートの実施等により利用者ニーズの把握に努め、引き続き安心安全な児童の居場所づくりに取り組むこと。
・地域の団体と連携しながら事業を充実させ、安心安全に利用できる居場所として児童館の機能周知に取り組むこと。

令和4年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		東吾野医療介護センター	
施設所在地		飯能市大字虎秀25番地の1	
指定期間		令和 2 年度 ~ 令和 4 年度 まで （ 3 年間 ）	
施設の設置目的		市民の健康保持に必要な医療及び介護サービスを提供するため。	
指定管理者	団体名	医療法人 靖和会	
	代表者	理事長 木川浩志	
	所在地	飯能市大字下加治137番地2	
担当部課	部	健康推進部	課 保険年金課 医療政策室
	TEL	978-5026	内線 117
	E-mail	iryo@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	S	専門職の確保に苦慮している面もあるが、様々な状況を想定した職員配置を行っている。 施設の老朽化に伴い不具合箇所が多くなってきたが、点検等をしっかり行い、適切な対応がされている。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	利用者数については、外来は計画値を下回ったものの、入院及び老健入所はほぼ計画値だった。健診等と通所リハについては計画値を上回る結果となった。
(3) 収支状況	S	利用料金収入の合計が指定管理制度導入以降、最高額となった。診療報酬加算の基準を常に満たす取り組みや、病床管理の徹底など収入増加に繋がる取組みを継続して実施している。
総合評価	S	・利用料金収入が指定管理者制度導入以降、最高額となり、収入増加に繋がる様々な取組みを継続してきた成果が表れた。 ・利用者からの評判も良く、地域に根差した施設として良好な運営がされた。

3 今後における業務改善の方向性

<p>・今年度、通所リハの利用者が増加したように、外来、健診についても工夫次第で利用者増加に向けて改善の余地があるため、今後も積極的なPRIに努めるとともに、利用者対応の見直し・研究など、利用者増加に繋がる取組みを継続していくこと。</p> <p>・入院及び老健入所については、依然として高い稼働率を維持しており、安定した収入を確保できる分野であるため、引き続きこの状況を維持できるよう努めていくこと。</p> <p>・専門職の確保が難しい状況ではあるが、職員の配置状況や業務配分の見直しなど、業務の効率化を追求し、山間地域の医療機関として求められる医療ニーズに対応できるよう取り組んでいくこと。</p>
--

令和4年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		飯能市都市公園（阿須運動公園、美杉台公園及び岩沢運動公園）	
施設所在地		飯能市大字阿須地内、美杉台一丁目地内、大字岩沢地内	
指定期間		令和 元 年度 ～ 令和 5 年度 まで （ 5 年間 ）	
施設の設置目的		都市公園は都市における緑とオープンスペースを形成し、良好な都市環境を提供して、中心市街地等のにぎわいの場、あるいは地域の自然的資源を観光振興として活用される。子供からお年寄りまでの幅広い年齢層が、自然とのふれあい、レクリエーション活動、健康運動、文化活動等多様な活動の拠点として、地域間の交流・連携の場として利用している。	
指定管理者	団体名	飯能市都市公園運動施設管理運営共同事業体	
	代表者	特定非営利活動法人飯能市スポーツ協会 会長 岡部素明	
	所在地	飯能市大字阿須812番地3	
担当部課	部	建設部	課 道路公園課
	TEL	042-973-2127（直通）	内線 241
	E-mail	ijikoen@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	今年度は維持、管理運営体制を開始して4年目の年であり、管理責任者の配置及び人員の体制等、概ね良好に遂行できたと評価します。また、遊具点検を実施し、危険箇所への対応や老朽化した施設の修繕を行う等、安全確認に努められていると評価します。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	年度当初から、除草作業、樹木剪定等の植栽管理を積極的に実施し公園美化に対する意識は高く評価できます。また、公園利用者からの要望や軽微な修繕及び清掃等への対応も早く、公園利用者へのイメージアップ等に寄与できていると評価します。
(3) 収支状況	A	期待通りであり評価します。
総合評価	A	年度当初より計画的に業務を遂行できており、植栽管理等の公園美化に対する意識については高く評価できます。また、突発的な案件への早急な対応や、危機管理体制も向上していると評価します。

3 今後における業務改善の方向性

民間事業者を強みに、公園利用者の増加につながるアイデアをもっているため、自主事業による自主財源のさらなる確保を実施してもらいたい。

令和4年度 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		飯能市都市公園運動施設	
施設所在地		飯能市大字阿須812番地3 他	
指定期間		令和元年度～令和5年度まで（5年間）	
施設の設置目的		市民の体育・スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、市民の体力向上と健康増進に資する。	
指定管理者	団体名	飯能都市公園運動施設管理運営共同事業体 代表団体 特定非営利活動法人飯能市スポーツ協会	
	代表者	会長 岡部 素明	
	所在地	飯能市大字阿須812番地3	
担当部課	部	教育部	課 スポーツ課
	TEL	042-972-6028(ダイヤルイン)	内線 741
	E-mail	taiiku@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	<ul style="list-style-type: none"> 業務仕様書で定められている管理業務の内容は、誠実に履行されている。 施設を安全で快適に利用できる年数を持続させる方策等をスポーツ課と情報共有し計画的な修繕を行うこと。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ推進のための自主事業の開催の充実、並びに施設の利便性を高めるための運営について実施に向け調査研究し、利用者のニーズを把握、反映させた事業を企画すること。 利用者とのコミュニケーションを図り、出された意見・要望等を管理運営に反映させること。また、接客対応・わかりやすい掲示物等の充実に努め利用者サービスの向上を図ること。
(3) 収支状況	A	<ul style="list-style-type: none"> 阿須運動公園ホッケー場改修工事の影響もあり、利用料金収入については前年度と比較して減少したものの、全体の利用者数は前年並みである。 引き続き、経費削減に取り組むとともに、安全・安心な管理運営に努めること。 経営的な視点で、収入の増加と、支出の縮減に努めること。
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理については、保守点検や修繕等、誠実に対応している。また、施設及び設備の老朽化が進む中、利用者の安心・安全を第一に考え、迅速な対応がされている。 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底しながら、利用者のニーズに合わせた市民サービスの向上に努めていた。

3 今後における業務改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"> 施設の安全性を確保するため、引き続き保守点検や修繕等を実施し、老朽化に伴う短・長期的な修繕計画を検討すること。 利用者のニーズを的確に捉え、利用者の立場に立ったサービスの向上に努めること。 新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類になったことにより、キッズルームの再開なども含めコロナ禍前の従来の利用方法に戻ることから、主催事業の充実や積極的な情報発信など利用者増加に向けた施策に取り組むこと。
--